

講義科目 : 福祉心理演習	単位数 : 4
担当 : 北村 香織	学習形態 : 必修科目
	実務経験 : 有
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

この演習では、福祉心理基礎演習で検討してきたテーマをさらに明確にして、研究課題を設定し、各自取り組んでいく。また、課題に対して適切な研究方法についても学ぶ。

具体的には、基礎演習と同じく各自の研究課題についてレジュメなどを用いながら報告を行い、ゼミ内で討議する形を基本とする。最終的には卒業論文完成を目標とする。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション (1年次に学んだことのふりかえりと、今後の計画 等)
 - 第2回 卒業論文作成についての基本的事項確認。論文とは何か?
 - 第3回 テーマ設定についての検討と報告についての方針決め
 - 第4回 報告 (個人の関心と生活問題) 第5回 報告 (生活問題と社会問題)
 - 第6回 報告 (対象設定の方法) 第7回 報告 (対象への接近方法とは)
 - 第8回 報告 (接近方法の検討) 第9回 報告 (研究と実際の生活の距離)
 - 第10回 これまでの報告のふりかえり
 - 第11回 フィールドワークにむけて文献検討
 - 第12回 フィールドワークにむけての報告
 - 第13回 フィールドワークへの準備作業
 - 第14回 フィールドワークまとめ
 - 第15回 卒業論文テーマ設定
 - 第16回 各自のテーマ報告と討論
 - 第17回 報告 (テーマ設定の適切性) 第18回 報告 (テーマを深めるとは)
 - 第19回 報告 (接近方法の適切性の検討) 第20回 報告 (事例の取扱についての検討)
 - 第21回 報告 (文献の使い方)
 - 第22回 報告 (論文の体裁についての検討)
 - 第23回 卒論にむけての留意事項と自由テーマ討論準備
 - 第24回 自分達で決めたテーマでディベート 第25回 施設訪問・ボランティア参加
 - 第26回 第25回のふりかえり、1年生へのアドバイス等についてまとめ
 - 第27回 卒業論文執筆
 - 第28回 卒業論文最終指導 第29回 卒業論文報告会
 - 第30回 卒業論文に関する講評と1年半のまとめ
- ゼミ生の人数や進捗状況によって、内容の変更はある。

《番外》福祉施設見学や、ボランティアへの参加、共通テーマを設定しての討議、釜ヶ崎地域へのフィールドワーク、他大学との交流合宿など

教材・テキスト・参考文献等

特に使用しない。参考文献は適宜提示

成績評価方法

出席、報告内容、ゼミへの参加度、卒業論文等を合わせて総合的に評価。(出席重視)

実務経験

障害者支援施設で勤務していたことがあります。実務経験を活かし、討論時には、社会福祉サービス利用者、家族、職員、それぞれの立場からの視点を提示できたらと考えています。

その他

福祉心理基礎演習で培ったものを深めつつ、課題を設定する作業を行い、そこから具体的な取り組みを進めていけたらと考えています。自分が考えていることをまとめる、話す、書く、人の話を聞く、ということは、学問だけではなく、社会に出てからも必要となる重要な要素です。演習は、これを学び体得する貴重な機会ですので、積極的に参加し、楽しんで下さい。

1年次の経験を活かし、さらに充実したゼミができることを期待しています。